

大学改革この1年

— 広島大学の改革



— 地域社会・国際社会と

〈学生・子供達・地域住民との交流を深めるフレンドシップ事業〉

広島大学

◎ 21世紀の

- ☆ 広島大学の
 - 21世紀の広
 - マスタープ

◎ 独立行政法人化

- ☆ 「独立行政
- ☆ 「独立行政

◎ 教育改革

- ☆ 教養的教育
 - 教養的教育
 - 教養的教育

- ☆ 学部教育改
 - 学生の流動
 - アドミッシ
 - A〇入試の
 - 成績評価基
 - 各学部の理
 - 学生のため
 - 外国語技能

- ☆ 大学院改革
 - 大学院講座化
 - 教育学学部
 - 社会人再教
 - マスタープ

- ☆ 教官の意識改
 - 教養的教育改
 - 教員研修会を

- ☆ 就職活動支援
 - 企業向け「広
 - 学生就職セン
 - インターンシ
 - 「厚生課」を
 - 卒業生を中心

◎ 自己点検

- ☆ 『広島大学
 - 1-理念・目
 - 4-教員組織

- ☆ 外部評価の

- ☆ 学生による授

- ☆ 新たな評価シ

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

改革

マスタープ
つなアクション

の設置

「村民会議」の設置

「本務調査検討委員」の設置

取組

る充実のため

る充実のため

の制度化)

リシーの明確

と厳格な成績評価

での到達目標(卒業修得

談(ピア・サ

理学研究科、先端物

の統合再編

の社会科学研

つき、総合研究

高度専門技術人

社会人の修得

社会人の修得

取組

学研修会

に実施

の強化

紹介)の作

学内措置)の

全学導入

課」に改組

課」に改組

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

赤字は、最
黒字は、以
緑字は、今

◎ 組織運営の活用

- ☆ 「大学計画委員会」の活用
- ☆ 「大学運営戦略会議」の活用
- ☆ 管理・運営体制の改善
 - 評議会の活性化のため
 - 評議会構成員の見直し
 - 学長補佐体制の整備
- ☆ 大学教員の選択的任用
- ☆ 事務機構改革「全学的な事務組織の推進」
 - 事務一元化、集中化
 - 事務職員の削減に対応
 - 全学的な事務組織の推進
 - 事務職員の意識改革の推進
 - 補佐提案プロジェクト等
- ☆ 事務管理運営改善

◎ 開かれた大学づくり

- ☆ 大学の知的資源を社会へ開放
 - 大学情報サービス室の活用
- ☆ 情報化社会に対応する情報教育の推進
- ☆ 地域との連携による社会貢献
- ☆ 地域企業との共同研究の推進
(地域共同研究センター)
- ☆ 研究成果の移転の推進
- ☆ 高度先進医療機関として地域社会に貢献
- ☆ 広島県教育委員会との連携
- ☆ 国際化の推進
 - 教育開発国際協力研究
 - ユネスコ・アジア太平洋教育開発センター
 - 外国人留学生受け入れ7カ年計画
 - 事務職員の海外派遣
- ☆ 情報化の推進
 - 知識・情報共有化システム
 - 学生データオンライン化
 - 高速キャンパス情報ネットワーク
- ☆ 本学の「セールスポイント」の策定
- ☆ 広大アンテナショップの推進

広島大学の理念

1. 平和を希求する精神
2. 新たな知の創造
3. 豊かな人間性を培う教育
4. 地域社会・国際社会との共存
5. 絶えざる自己変革

平成7年10月17日制定

本学の将来計画の策定に当たっての基本的な考え方

1. 学部教育と大学院教育の相対的な役割の分化を図りながら、新しい時代に対応した大学院の整備・充実と教養的教育のさらなる充実を含む学部教育の抜本的改革をめざす。
2. 真の総合大学をめざして、学部・研究科間相互の交流推進による教育研究の活性化及び専門深化を図るとともに新しい学問領域を開拓・発展させる。
3. 開かれた大学を実現するため、大学情報の公開を推進し、地域社会・国際社会とのネットワークを構築して、知的情報の創造と発信機能を充実させる。

平成10年10月20日学長提案
部局長連絡会議承認

平成13年10月総務部作成